

2020年3月期 第1四半期

決算説明会

日本電産株式会社



Ni150Fシリーズ



Ni100Fシリーズ



Ni70Fシリーズ

2019年7月24日

－注意事項－

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

表紙の写真は、トラクションモータシステム「E-Axle」のラインアップ拡充を示します。2019年4月から量産を開始した150kWモデルに加え、100kW、70kWの2機種を新たに開発いたしました。ギアボックス・インバータ・モーター一体化による小型・軽量モデルの特徴はそのままに、様々なセグメントの車種への搭載が可能になりました。これにより、グローバル市場でのニーズのほとんどをカバーできるようになります。

■ 連結決算業績



(百万円)	18年度 第1四半期	19年度 第1四半期	前年比	19年度 通期見込
売上高	372,223	360,874	-3.0%	1,650,000
営業利益	45,693	27,959	-38.8%	175,000
営業利益率	12.3%	7.7%	-	10.6%
税引前利益	45,888	31,262	-31.9%	170,000
当期利益	37,287	3,476	-90.7%	135,000
一株利益 (円)	126.06	11.81	-90.6%	458.73
対米ドル為替レート				米ドル=105円
平均...	109.07円	109.90円	+0.8%	ユーロ=125円
期末...	110.54円	107.79円	-2.5%	(2Q以降想定レート)

* 17ページに記載の注記にご留意下さい。

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高90億円、営業利益11億円、ユーロは売上高17億円、営業利益4億円（全てFY19通期ベース）

3

■ 2019年1Q決算ハイライト



- 連結売上高は前期比3%減収も、**上期及び通期ガイダンスは不変。**
- 営業利益は前期比39%減益も、**上期及び通期ガイダンスは不変。**
- 当期利益は非継続事業のセコップ損失198億円計上を主因に前期比91%減益となり、上期ガイダンスを下方修正したものの、**通期ガイダンスは不変。**

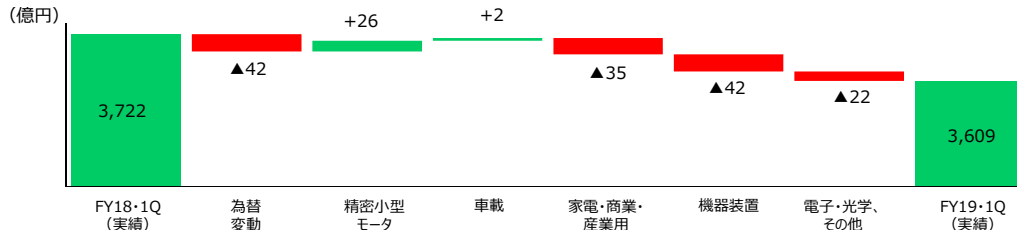
* 17ページに記載の注記にご留意下さい。

4

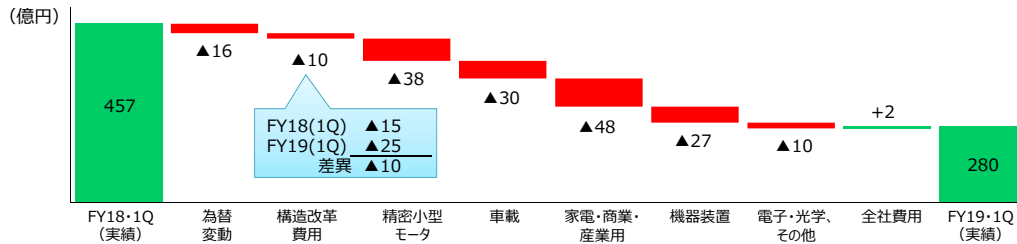
2019年度1Q業績の前年同期比増減分析



【売上高】



【営業利益】



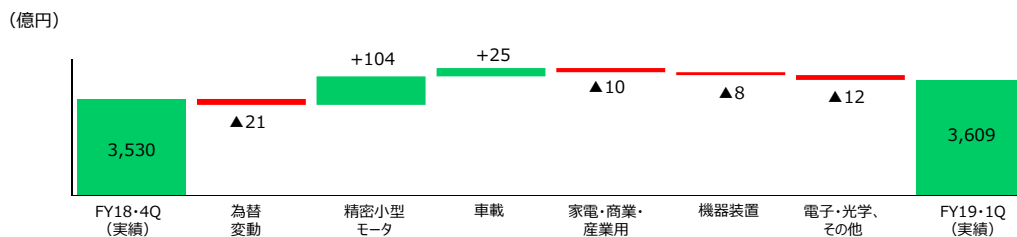
* 17ページに記載の注記にご留意下さい。

5

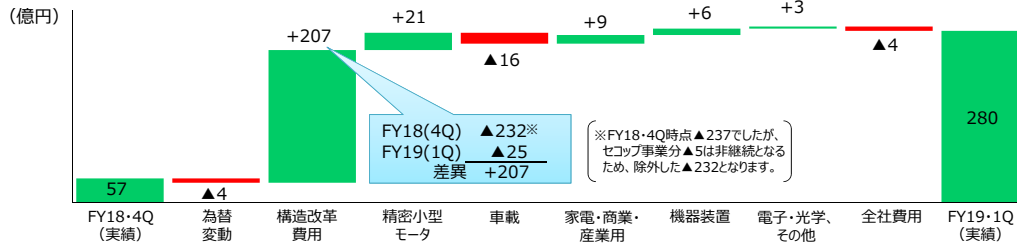
2019年度1Q業績の直前四半期比増減分析



【売上高】



【営業利益】



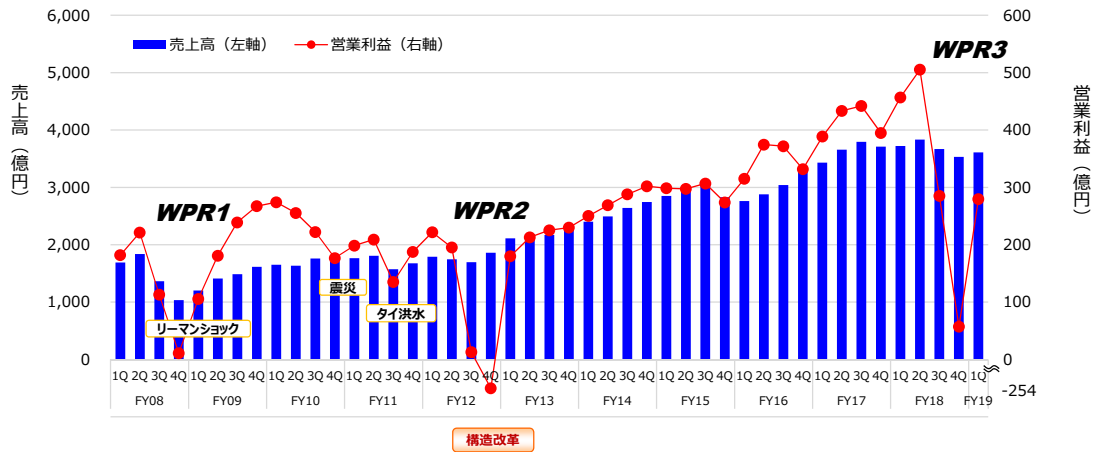
* 17ページに記載の注記にご留意下さい。

6

■ 四半期別の業績推移（売上高・営業利益）



WPR3 活動によるコスト構造の改革を着実に継続し、需要の本格的な回復期に備える



中期戦略目標

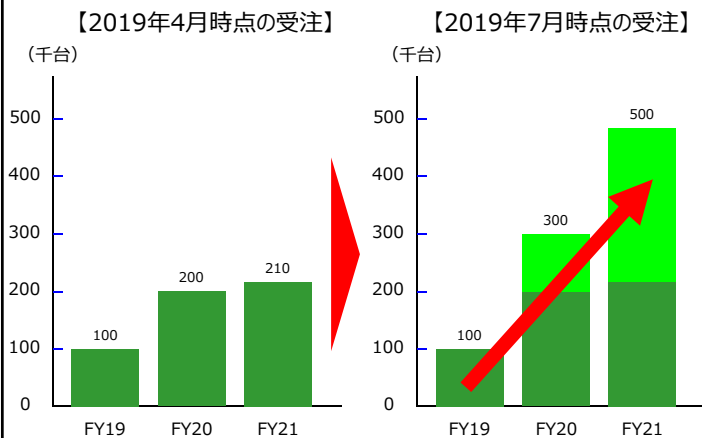
Vision2020

利益ある高成長の飽くなき追求

- ① 連結売上高目標 2兆円
(新規M&A 約5,000億円を含む)
- ② 内、車載売上高目標 7千億円～1兆円
- ③ 連結営業利益率目標 15%以上
- ④ ROE (株主資本利益率) 18%以上
(株主資本比率60%を前提目標)
- ⑤ グローバル5極経営管理体制の確立

<販売台数計画>

直近3ヶ月の間にFY20-21の受注数量が倍増



<生産拠点計画>

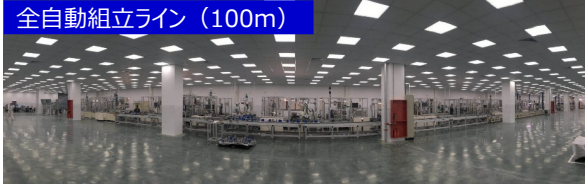
将来の受注に備え早急に体制を整備

<p>【トラクション第1工場】</p>	<p>稼働中</p> <p>日本電産東測 (浙江) 有限公司</p> <p>600千台/年</p>
<p>【トラクション第2工場】</p>	<p>新規立上げ予定</p> <p>日本電産自動車モータ (浙江) 有限公司</p> <p>400千台/年</p>
<p>【トラクション第3工場】</p>	<p>新規立上げ予定</p> <p>日本電産 (大連) 有限公司</p> <p>1,000千台/年</p>

■ 車載：トラクションモータ工場が本格的な量産稼働を開始①

4階建て66,000㎡の世界最大級のトラクションモータ工場が、量産稼働を開始

全自動組立ライン (100m)



鳥瞰写真



最終工程



鑄造ライン (主要部品を内製化)



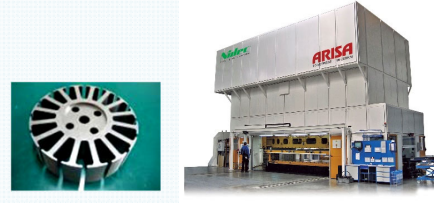
■ 車載：トラクションモータ工場が本格的な量産稼働を開始②

主要部品を内製化し、高品質・低コスト化・安定供給を実現する垂直統合型工場

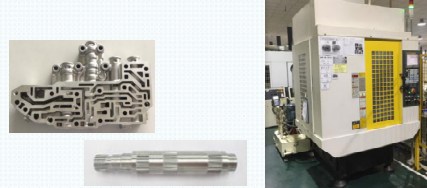
アルミダイキャスト



ハウジング・コアプレス



精密機械加工



樹脂成形



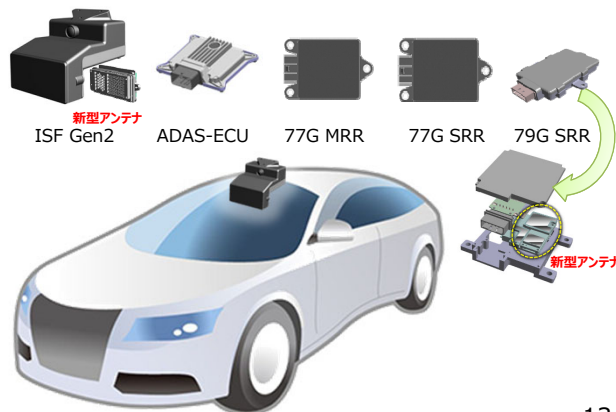
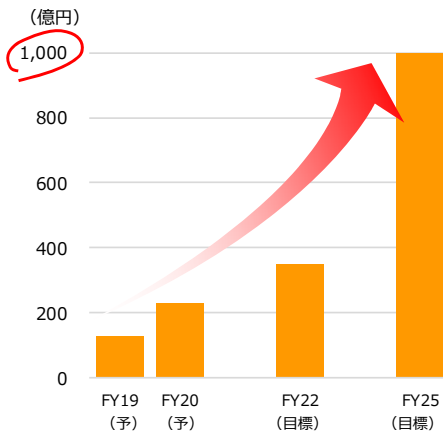
■ 車載：ADAS関連での新規受注案件が目白押し



ハイエンドからローエンドまで幅広いプロダクトラインナップを準備しグローバル市場で受注が進展

【日本電産エレシスのADAS関連製品売上高目標】

日本・欧米・中国の乗・商用車OEMから受注・新規引き合いが殺到



■ 精密小型モータ：台湾CCI社のPMIと拡販活動を推進中



嘗ての「部品単品納入」から「モジュール・ソリューション」を求める顧客ニーズの変化に対応



【競合分析】

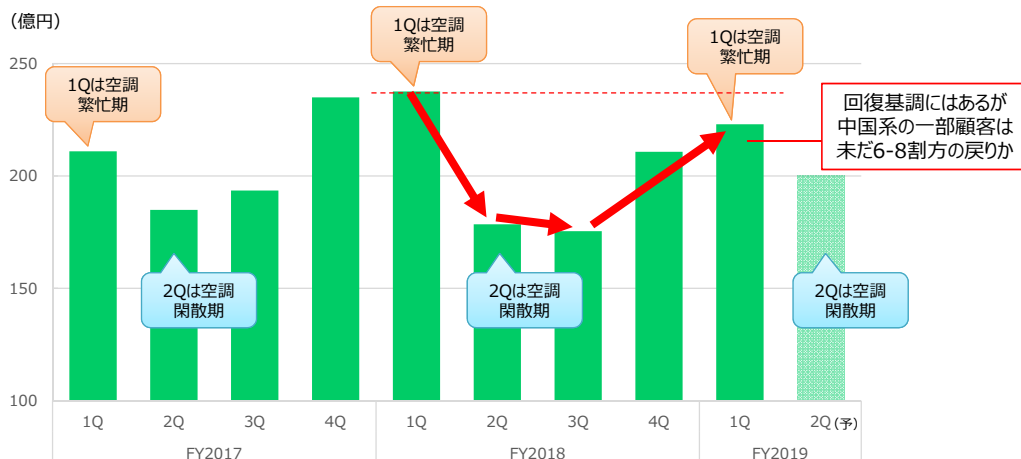
	CCI	国内A社	台湾A社	台湾B社	台湾C社
ファン	無し → ◎	無し	無し	○	○
ヒートパイプ	○	○	◎	○	○
ヒートシンク	○	△	×	△	△
ベーパーチャンバー	○	△	×	○	△
モジュール開発力	○	○	×	○	○
生産力	◎	○	◎	○	○
コスト競争力	◎	×	◎	○	○
協業能力	◎	○	△	△	△

■家電・商業・産業用：日本電産テクノモータの四半期別売上推移



空調関連は、猛暑の欧州、アジアや日本も好調。昨年度来の中国の市場在庫は解消基調

【日本電産テクノモータの四半期別売上高推移】

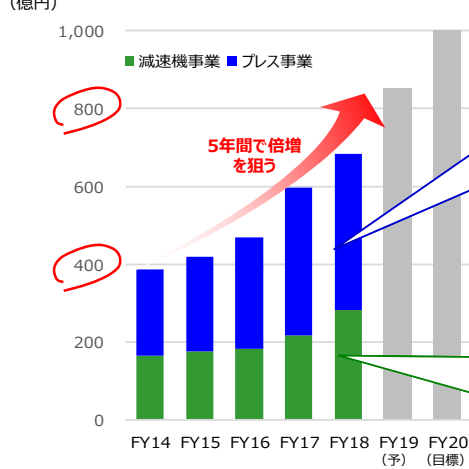


■機器装置：日本電産シンポの成長戦略



新製品投入による着実な自律成長とM&Aの連打で製品ポートフォリオを拡充し高成長を実現

【日本電産シンポの年間売上高推移】



<プレス事業>

自律成長: KYORI

M&A: MINSTER, ARISA, VAMCO, SYS

<減速機事業>

自律成長: FLEXWAVE, 遊星減速機, THOUZER, CORONEX, S-CART 1000, S-CART

M&A: MSグレスナー, デツシ

直交型減速機, 大型減速機



お問い合わせ先

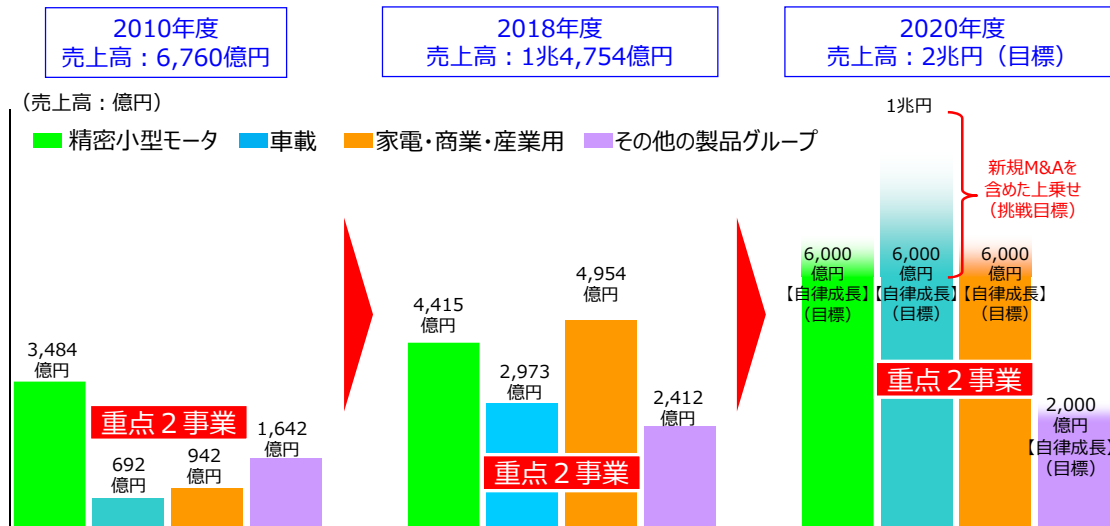
日本電産株式会社 IR・CSR推進部
Tel : 075-935-6140
E-mail : ir@nidec.com

注記：
当社は2019年度第1四半期よりセコップ社の冷蔵庫向けコンプレッサ事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上高、営業利益及び税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。

補足資料

業績推移・ 製品グループ別状況

■「6千億円×3本の柱」が軸となる新たな2兆円企業集団へと脱皮



* 17ページに記載の注記にご留意下さい。

■ “4つの大波”に新たに加わる5Gの大波によって「5つの大波」へ



クルマ・ロボティクス・省エネ家電・ドローン用途等、創業以来の大波が続々と到来

クルマの電動化、EV・PHEV
内燃機関から電気へ。100年に1度の技術革新

脱炭素化の波

5G通信に起因する様々な次世代技術
通信速度100倍がもたらすハードウェアの技術革新

デジタルデータ爆発の波

ロボット活用の拡がり
協働型ロボットが食品・物流・サービス分野へ。市場急拡大

ホット化の波

家電製品のブラシレスDC化
コードレス化や高機能化。家電製品の技術革新

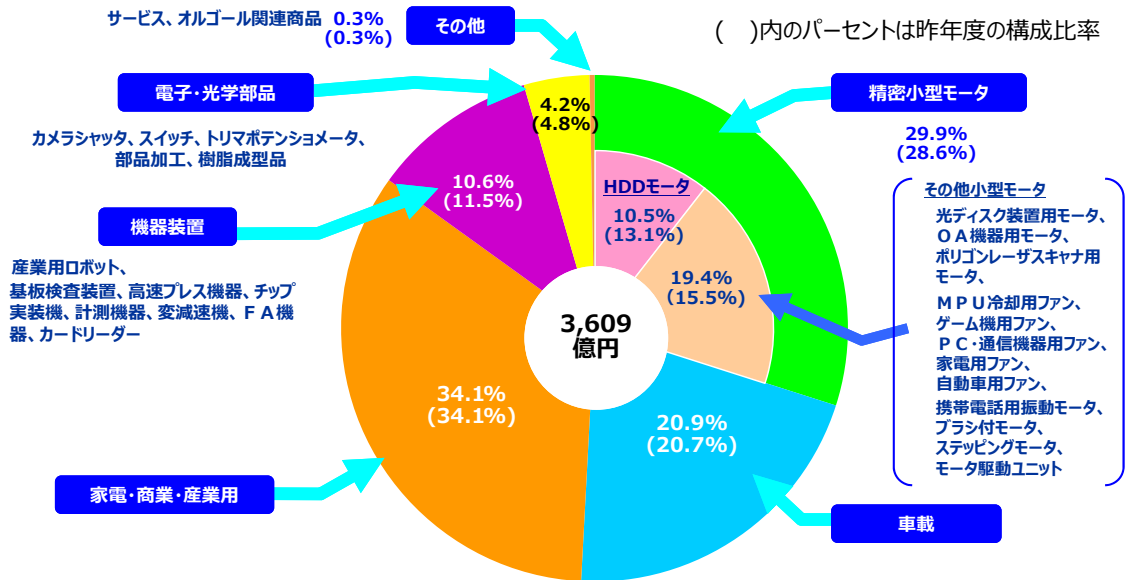
省電力化の波

農業・物流の省人化
人手不足の深刻化。第4次産業革命が追い風

物流革命の波

FY19/1Q製品グループ別売上構成

* 17ページに記載の注記にご留意下さい。 **Nidec**
-All for dreams

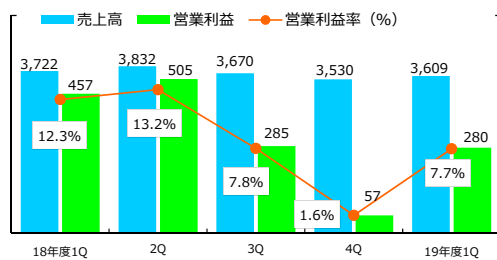


21

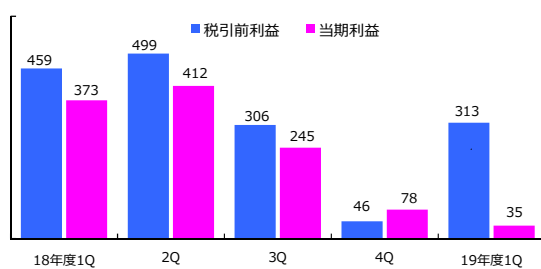
連結決算ハイライト

* 17ページに記載の注記にご留意下さい。 **Nidec**
-All for dreams

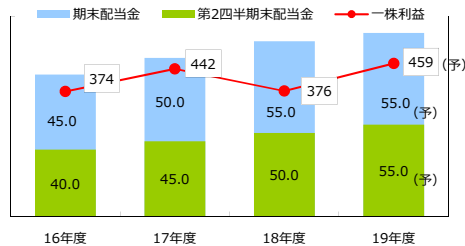
【売上高・営業利益の推移 (億円)】



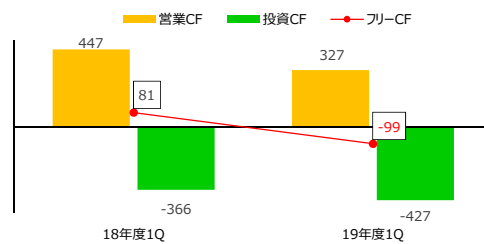
【税引前利益・当期利益の推移 (億円)】



【配当金の推移 (円)】



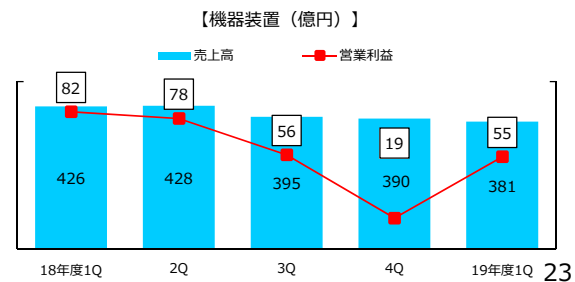
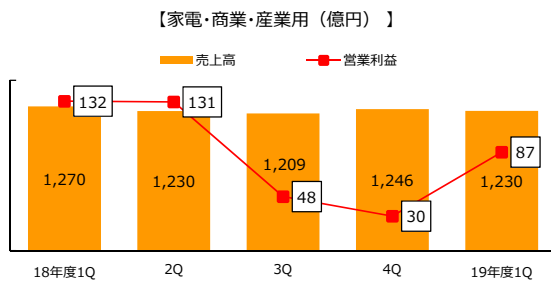
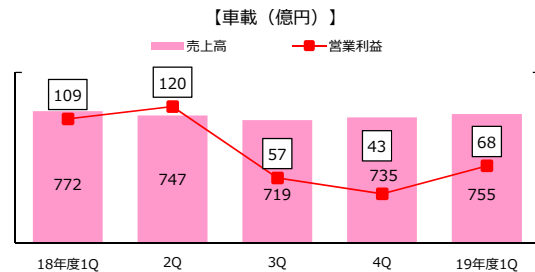
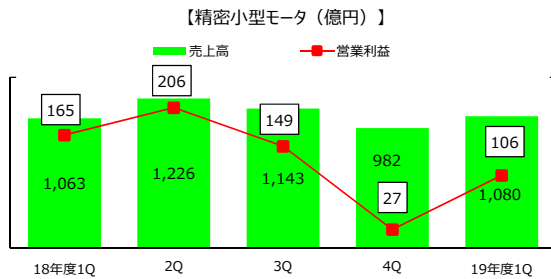
【キャッシュフローの推移 (億円)】



22

製品グループ別業績推移

* 17ページに記載の注記にご留意下さい。



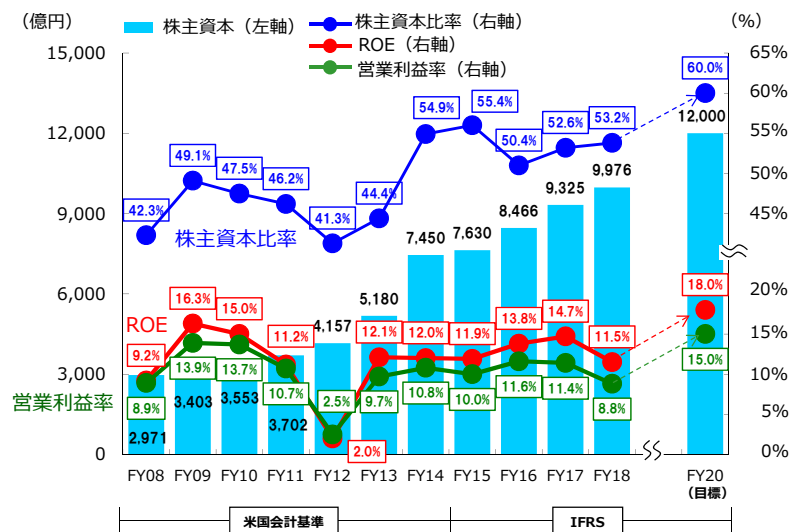
23

Vision2020：利益ある高成長と財務規律の両立

* 17ページに記載の注記にご留意下さい。



財務規律を維持・向上させながら 営業利益率15%/ROE18%を狙う



三位一体のROE向上

- ・ 売上高純利益率
- ・ 総資産回転率
- ・ 財務レバレッジ

米国会計基準

IFRS

24